

新年のご挨拶



病院長 松永 信

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとって、希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、医療現場において多くの課題に直面しながらも、患者さんの安心と安全を守るために、病院スタッフ一人ひとりが尽力してまいりましたが、それにも増して、地域の皆様に多大なるご支援とご協力を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。

本年も、地域に根ざした医療・介護とリハビリテーションサービスの向上を目指し、患者さんお一人おひとりに寄り添う医療を提供してまいります。また、地域社会との結びつきをさらに強め、皆様との信頼関係を一層深め、皆様とともに歩む病院であり続けられるよう精進して参ります。

本年も、宇部リハビリテーション病院をどうぞよろしくお願ひいたします。



看護部長 西島陽子

新年あけましておめでとうございます。

新たな年を迎える、大きく息を吸いゆっくりと目を閉じ、気を引き締めてまいりたいと思います。昨年も異常気象のための酷暑と豪雨災害、物価の高騰、大阪万博、ミャクミャク、米不足、女子ゴルファーのアメリカでの活躍、内閣の交替と一年を通してメディアがにぎわっていました。その中で人のやさしさや怖さもありあげられていました。当院にとって、酷暑は患者の生命にかかわり、療養環境を保つためには物価の高騰も大きく影響しました。その中で病床稼働率は高位で推移し、職員一同よく頑張ってくれていました。コロナ感染は一年を通して感染はあったが、以前のようなクラスター発生に至らず経過することが出来ました。酷暑から急激な冬型へと変化する中で、体調を崩すこともあり職員の十分な確保ができない状況が続きます。

今年は「丙午」です。「丙」は「火」に属し「陽」の性質があると言われ、丙は太陽を象徴とし、「情熱」「正義感」「表現力」「社交性」などで表現されます。少子高齢化社会の進行と地域包括ケアの推進が鈍化した混沌とした中で、医療の現場は厳しい状況が継続します。丙午のように「情熱と行動力で突き進む」覚悟で看護・介護の質の向上を目指し、患者様の療養に寄り添っていきたいと思います。

第一回 医療・介護学術研究集会

当院の今年度の医療活動目標の一つとして、「患者さん・利用者さんを中心とした安心・安全の医療・介護に全職員で取り組み、医療・介護の質の向上を図る」とあります。私たちは、科学的な現代医学・医療の知識と技術をもって、正しい検査・診断・治療・リハビリ・看護・介護を行い、保健・予防医学の啓蒙活動を推進する役割があり、医療従事者として自己研鑽は欠かせません。

そこで今年度より、すべての職種が参加する"第一回 医療・介護学術研究集会"を開催し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床検査技師、社会福祉士、事務より16演題を発表しました。活発な質疑応答、多角的視点から意見や知識を出し合い有意義な意見交換となりました。職員のモチベーションも上がり、今後の当院の大きな可能性と発展を強く感じました。

| 賞 | 演題 | 発表者 |
|----------------------------|---|-------|
| 院長賞 | アルツハイマー病専門外来42例の検討 | 医師 |
| 事務長賞 | 回復期における脊髄損傷患者に対する理学療法士の取り組み | リハビリ |
| 看護部長賞 | 介護老人福祉施設における高齢者の服薬簡素化に対する取り組み | 薬剤部 |
| 認知症ケアチーム活動は、入所者を幸せにするで賞 | 認知症チームケア活動 -チームケアカンファレンスを通しての気付き- -チーム活動を通しての気付き- | 看護部 |
| ポジショニングで患者さんの安全と安楽を向上させるで賞 | 褥瘡予防に対する看護職の意識調査 ポジショニングの現状とその後の変化-勉強会を通して | 看護部 |
| 身寄りのない人の頼りになるで賞 | 身寄りのない人を受け入れるための医療ソーシャルワーカーの取り組み | 地域連携室 |

受賞者

